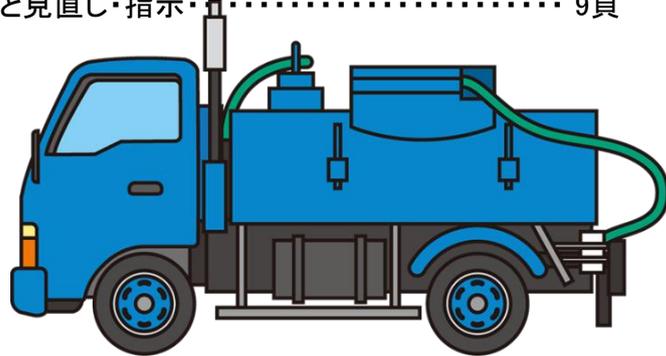


環境経営レポート

活動期間
(2021年7月1日～2021年9月30日)

1. 組織の概要	1頁
2. 対象範囲	2頁
3. 実施体制	3頁
4. 環境経営方針	4頁
5. 環境経営目標	5頁
6. 環境経営計画及び計画の取組結果と評価	6頁
7. 環境経営目標の実績と評価	7頁
7. 1次年度の環境経営目標と環境経営計画	8頁
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	9頁
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	9頁



2021年10月25日発行

和興建清株式会社

1. 組織の概要

- 1) 名称及び代表者名
和興建清 株式会社
代表取締役社長 長谷川 雄一
- 2) 所在地
本社 神奈川県大和市上草柳3-16-27
現場事務所 神奈川県大和市西鶴間8-10-34
座間支店 神奈川県座間市明王13-11
- 3) 環境責任者氏名及び担当者連絡先
環境責任者 常務取締役 長谷川 稔
担当者 常務取締役 長谷川 稔
TEL : 090-3247-6974
E-Mail : m-hasegawa@wacoh1967.co.jp
- 4) 事業活動内容
産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬業、再生資源の収集運搬業、
一般貨物運送業、ビルメンテナンス業、
建設物飲料水貯水槽清掃業、浄化槽清掃と維持管理

5) 事業の規模

	2019年度
売上高(百万円)	378百万円
従業員数(人)	58人
床面積(m ²)	1800.72

- 6) 事業年度 4月～3月

7) 情報公表項目

- (1) 法人設立年月日： 昭和42年9月
- (2) 資本金： 1300万円
- (3) 許可の内容：

許可地区、許可番号、許可区分、廃棄物の種類、(許可年月日、許可の有効年月日)

許可地区	許可区分	許可番号
	産業廃棄物の種類	許可年月日 許可の有効年月日
神奈川県	産業廃棄物収集運搬業(積替え保管を除く)	14-02-007397号
	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、鋳さい、がれき類、動物ふん尿、動物死体、ばいじん、13号、動物系不要物	平成29年1月16日 令和3年12月31日
神奈川県	特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替え保管を除く)	14-52-007397号
	引火性廃油、腐食性廃酸 腐食性廃アルカリ、有害鋳さい、廃石綿等、有害ばいじん、有害燃え殻、有害廃油、有害汚泥、有害廃酸、有害廃アルカリ	平成30年9月6日 令和5年8月27日
大和市	一般廃棄物収集運搬業	103号
	一般廃棄物	令和3年7月29日 令和4年3月31日
座間市	一般廃棄物収集運搬業	4-28号
	一般廃棄物	令和3年4月1日 令和4年3月31日
海老名市	一般廃棄物収集運搬業	環25号
	一般廃棄物	令和3年4月1日 令和4年3月31日

神奈川県	浄化槽保守点検業者の登録	神浄保67号
		平成30年3月31日
		令和5年3月30日
神奈川県	建設物飲料水貯水槽清掃業登録	5貯第28号
		平成30年2月6日
		令和6年2月5日
神奈川県	建設物環境衛生総合管理業登録	19総第14号
		令和2年3月17日
		令和8年3月16日
関東運輸局	一般貨物自動車運送業	関自貨第1547号
		平成22年1月21日

- (4) 施設状況：
 収集運搬業：運搬車両の種類と台数、積替保管なし

収集運搬車両	台数	収集運搬車両	台数
・パッカー車	14台	・糞尿車	2台
・脱着装置付きコンテナ	4台	・清掃車	1台
・キャブオーバー車	4台	・バン	1台
・ステーションワゴン	5台	・箱型車	2台

- (5) 処理実績：環境への負荷の自己チェック、別表②受託した産業廃棄物の処理量)

事業年度	種類	収集運搬量(t)
2021年7月1日～ 2021年9月30日	産業廃棄物	181
	一般廃棄物	315

対象組織 「1. 2) 所在地」欄に記載

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

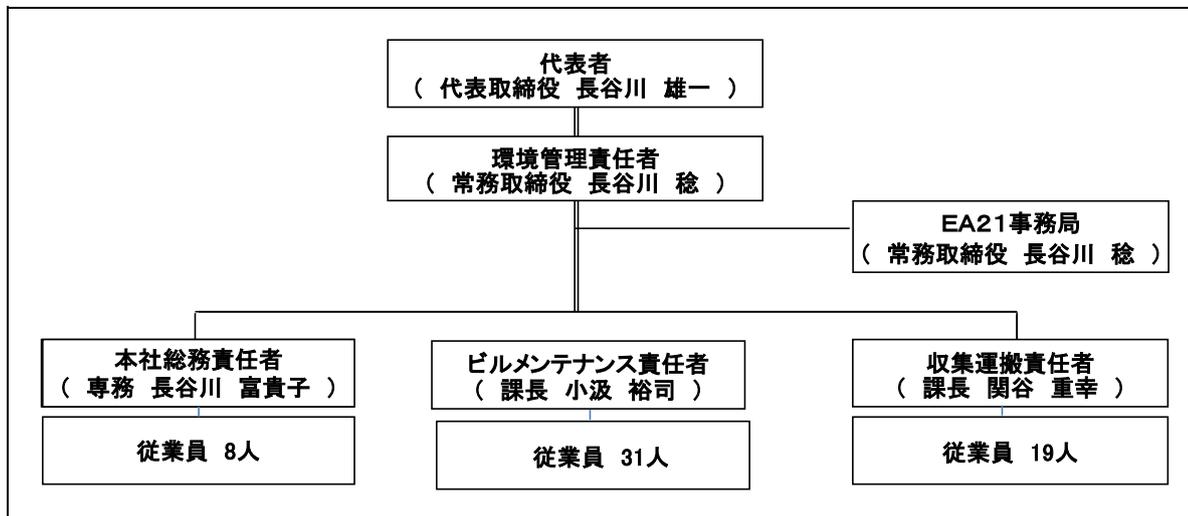
活動 「1. 4) 事業活動内容」欄に記載

- 1) レポートの対象期間及び発行日
- 2) レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載。
- 3)

3. 実施体制

環境経営実施体制表

作成 2021/6/24



役割	役割り、責任および権限
代表者	1. 取り組みの対象組織・活動の明確化 2. 経営における課題とチャンス明確化 3. 環境経営方針の作成、全従業員に周知 4. 実施体制の構築 5. 代表者による全体の評価と見直し 6. 環境経営レポートの承認 7. その他
環境管理責任者 (EA21事務局)	1. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価 2. 環境関連法規の取りまとめ 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定 4. 環境コミュニケーションの実施 5. 取組状況の確認及び問題の是正及び予防 6. 環境関連書類の作成・管理 7. 環境経営レポートの作成・公表 8. その他
部門責任者	1. 教育・訓練の実施 2. 実施及び運用 3. 環境上の緊急事態への準備及び対応 4. その他
全従業員	1. 環境経営方針の理解及び環境問題の現状と環境への取組の重要性の自覚 2. 環境経営目標、環境経営計画に基づくEA21活動の実施

4. 環境経営方針



環境経営方針

【 環境理念 】

当社は、環境問題への対応が社会的責務であることを認識し、循環型社会実現のため、全従業員で環境負荷の低減に努め、持続可能な社会づくりに貢献します。

【 企業理念 】

- 1 使命 私達は、仕事に真心をこめて提供します
- 2 必要 私達は、いつまでも求められる会社でいる
- 3 感謝 私達は、常に有難うの心を持ち気持ちの良い仕事をします

【 行動指針 】

環境経営への取組みに当たっては、以下の重点分野に従って全従業員による環境活動を実施するとともに環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。

1. 収集運搬業、ビルメンテナンス業などすべての事業活動において、環境に十分配慮します。
2. 環境関連法規制、条例、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。
3. 業務の効率化を推進し、省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進します。
 - ①二酸化炭素排出量の削減
 - ・電力使用量の削減
 - ・燃料(ガソリン、軽油)使用量の削減
 - ②廃棄物排出量の削減
 - ③水使用量の削減
 - ④化学物質使用量の適正管理
4. 全従業員に対して環境保全に関する意識付けを行い、日々の業務の中で温室効果ガス排出量の管理および削減の理解促進のため、定期的な研修を実施します。

この環境経営方針は全ての従業員及び、当社のために働く全ての人にも周知徹底すると共に、一般にも公開します。

2021年6月24日

和興建清株式会社

代表取締役 長谷川 雄一

5. 環境経営目標

2021年度 環境経営目標

作成年月日 2021年10月25日

No	環境方針・目標項目	基準値		CO2 換算係数	年度目標										
		(2020年度)	(7~9月)		2021年度 3ヶ月(7月~9月)		2021	年度	2022	年度					
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	本社	電力使用量		0.576	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減
				18,420	4,460		4,415		18,236		18,052				
				kWh/年	kWh/3ヶ月		kWh/3ヶ月以下		kWh/年以下		kWh/年以下				
			現場	電力使用量			基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減
				11,164	2,641		2,615		11,052		10,941				
				kWh/年	kWh/3ヶ月		kWh/3ヶ月以下		kWh/年以下		kWh/年以下				
		合計	二酸化炭素合計		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減		
			17,040	4,090	4,049		16,870		16,700						
			kg-CO2/年	kg-CO2/3ヶ月	kg-CO2/3ヶ月以下		kg-CO2/年以下		kg-CO2/年以下						
		化石燃料消費量の削減	年間消費量	3ヶ月消費量	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減		
			現場	LPG <kg>		566		1,741		1,724					
				1,759	572	kg/3ヶ月以下		kg/年以下		kg/年以下					
	本社		ガソリン <L>		335		1,682		1,665						
			1,699	339	L/3ヶ月以下		L/年以下		L/年以下						
	現場		ガソリン <L>		262		1,006.7		997						
			1,017	265	L/3ヶ月以下		L/年以下		L/年以下						
現場	軽油 <L>		12,204		39,006		38,612								
	39,400	12,327	L/3ヶ月以下		L/年以下		L/年以下								
計(kg-CO ₂)	二酸化炭素合計		34,620		112,519		111,383								
	113,656	34,970	L/3ヶ月以下		L/年以下		L/年以下								
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	本社	一般廃棄物排出量		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	
				7,296	1,824	1,806		7,223		7,150					
現場	kg/年		kg/3ヶ月		kg/3ヶ月以下		kg/年以下		kg/年以下						
	12,768	3,192	3,160		12,640		12,513								
3	水使用量の削減	水道使用量	本社	水道使用量		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	
				145	64	63		144		142					
現場	m ³ /年		m ³ /3ヶ月		m ³ /3ヶ月以下		m ³ /年以下		m ³ /年以下						
	103	72	72		102		101								
4	化学物質使用量の適正管理	化学物質使用量		基準値に対し	0	%削減	基準値に対し	0	%削減	基準値に対し	0	%削減			
		53	12	12		53		53							
6	産業廃棄物処理業での環境配慮	環境配慮提案件数		基準値に対し	1	%向上	基準値に対し	0	%向上	基準値に対し	0	%向上			
		3	1	1		3		3							
件/年		件/3ヶ月		件/3ヶ月以下		件/年以下		件/年以下							

※二酸化炭素排出係数はH30年度ワタミファーム&エナジー(株)の0.576kg-CO2/kwhを使用した。

6. 環境経営計画及び経営計画の取組結果と評価

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	施策 実施 状況	計画に基づき実施した取組 内容及び次年度の計画	評価	
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	①不使用照明の消灯	常務取締役 長谷川稔	■ ■ ■ ■	不使用箇所消灯の徹底等で節電に努めた。エアコンの温度設定に留意した。次年度も継続展開を実施する。	○	
			②空調の適温化(冷房26、暖房22度)					
			③OA機器のセーブモード設定					
			④設備機器の定期的メンテナンス実施					
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブ10のすすめの徹底	常務取締役 長谷川稔	■ ■ ■ ■	エコドライブの徹底では10の勧めを周知・確認徹底を図った。公共交通機関の利用を多くして削減につとめた。次年度も継続展開を実施する。	○
				②省エネ運転の実行				
				③車両の点検実施				
			軽油	④エアークレジットの適正化点検	常務取締役 長谷川稔	■ ■ ■	エコドライブの徹底では10の勧めを周知・確認徹底を図った。次年度も継続展開を実施する。	○
				⑤省エネ型自動車への切り替え				
				⑥車両以外の交通手段を併用				
CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)		須田			○			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①分別徹底	専務取締役 長谷川富貴子	■ ■ ■ ■	分別の徹底や裏紙使用での印刷を行った。メール等を使用情報共有を図り紙を削減した。次年度も継続展開を実施する。	○	
			②空き缶・ボトルの自販機回収					
			③裏紙使用で紙使用量の削減					
			④IT化により紙使用量の削減					
3	水使用量の削減	水使用量の削減	①節水表示	専務取締役 長谷川富貴子	■ ■ ■ ■	節水シールを貼り付して意識の高揚を図った。次年度も継続展開を実施する。	○	
			②散水は必要最小限					
			③洗車は高圧洗浄で節水					
			④年に2回漏水点検					
4	製品の環境性能の向上及びサービス	環境配慮提案件数	①社内(環境)勉強会	専務取締役 長谷川富貴子	■ ■	朝礼で進捗確認を行い末端まで周知徹底を図った。次年度も継続展開を実施する。	○	
			②環境提案の実施					

施策の実施状況: ■ 実施 △1部実施 □未実施
 評価: ○取り組みはよくやられている ×取り組みが不十分

7. 環境経営目標の実績と評価

作成年月日 2021年10月25日

No	環境方針・目標項目		基準値		CO2 換算係数	目標			実績	評価		
			(2020年度)	(7~9月)		2021年度 3ヶ月(7月~9月)						
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	本社	電力使用量		0.576	基準値に対し	1	%削減	4,294	○	
				18,420	4,460		4,415					
				kWh/年	kWh/3ヶ月		kWh/3ヶ月以下					kWh
			現場	電力使用量			2.32	基準値に対し	1	%削減	2,845	×
				11,164	2,641			2,615				
				kWh/年	kWh/3ヶ月			kWh/3ヶ月以下				
			合計	二酸化炭素合計			2.58	基準値に対し	1	%削減	4,112	×
				17,040	4,090			4,049				
				kg-CO2/年	kg-CO2/3ヶ月			kg-CO2/3ヶ月				
		化石燃料消費量の削減	年間消費量		3.00	基準値に対し	1	%削減	21	○		
			現場	LPG <kg>		566					663	
			現場	1,759	572	kg/3ヶ月以下			kg	×		
				ガソリン <L>		2.32	335				155	
			本社	1,699	339		L/3ヶ月以下			L	○	
				ガソリン <L>		2.58	262			272		
現場	1,017		265	L/3ヶ月以下			L	×				
	軽油 <L>		2.58	12,204			11,114					
現場	39,400	12,327		L/3ヶ月以下			L	○				
	二酸化炭素合計		3.00	34,620			31,699					
計(kg-CO ₂)	113,656	34,970		L/3ヶ月以下			kg-CO ₂	○				
	130,696.3	39,060	38,670			35,881						
	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂ /3ヶ月以下			kg-CO ₂						
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	本社	一般廃棄物排出量		0.576	基準値に対し	1	%削減	1824	×	
				7,296	1,824		1,806					
			現場	kg/年	kg/3ヶ月		kg/3ヶ月以下			kg		
				12,768	3,192		3,160			2,280.0		
現場	kg/年	kg/3ヶ月	kg/3ヶ月以下			kg	○					
3	水使用量の削減		本社	水道使用量		0.576	基準値に対し	1	%削減	48	○	
				145	64		63					
			現場	m ³ /年	m ³ /3ヶ月		m ³ /3ヶ月以下			m ³		
				103	72		72			35.0		
現場	m ³ /年	m ³ /3ヶ月	m ³ /3ヶ月以下			m ³	○					
4	化学物質使用量の削減		化学物質使用量		0.576	基準値に対し	0	%削減	12	○		
			53.04	12.00		12						
			kg/年	kg/3ヶ月		kg/3ヶ月以下					kg	
6	産業廃棄物処理業での環境配慮		環境配慮提案件数		0.576	基準値に対し	1	%向上	1	○		
			3	1		1						
			件/年	件/3ヶ月		件/3ヶ月以上					件	

※二酸化炭素排出係数はH30年ワタミファーム&エナジー(株)の0.576kg-CO₂/kwhを使用した。

2021年度7月から9月の総二酸化炭素排出量は、39101kg-CO₂

7. 1次年度の環境経営計目標と環境経営計画

2021/10～2022/9

No	環境経営方針	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール 10月～9月				
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量 2020年度比 1%削減	①不使用照明の消灯 ②空調の適温化(冷房26、暖房22度) ③OA機器のセーブモード設定 ④設備機器の定期的メンテナンス実施	常務取締役 長谷川稔	(先達成手段全て)				
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン使用量 2020年度比 1%削減	ガソリン ①エコドライブ10のすすめの徹底 ②省エネ運転の実行 ③車両の点検実施 ④エアークレジットの適正化点検 ⑤省エネ型自動車への切り替え ⑥車両以外の交通手段を併用			常務取締役 長谷川稔	(先達成手段全て)		
					軽油使用量 2020年度比 1%削減	軽油 ①エコドライブ10のすすめの徹底 ②省エネ運転の実行 ③車両・点検実施 ④エアークレジットの適正化点検 ⑤省エネ型自動車への切り替え			常務取締役 長谷川稔	(先達成手段全て)
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量2020年度比1%削減	①分別徹底 ②空き缶・ボトルの自販機回収 ③裏紙使用で紙使用量の削減 ④IT化により紙使用量の削減	専務取締役 長谷川富貴子	(先達成手段全て)				
3	水使用量の削減	水使用量の削減	水使用量2020年度比1%削減	①節水表示 ②散水は必要最小限 ③洗車は高圧洗浄で節水 ④年に2回漏水点検	専務取締役 長谷川富貴子	(先達成手段全て)				
4	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	環境配慮提案件数	提案件数3件以上	①社内(環境)勉強会 ②環境提案の実施	専務取締役 長谷川富貴子	(先達成手段全て)				

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果 並びに違反、訴訟等の有無

8.1 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)
- ・家電リサイクル法
- ・自動車リサイクル法
- ・道路交通法(道交法)
- ・フロン排出抑制法
- ・大和市環境を守り育てる基本条例

8.2 違反、訴訟等の有無

上記環境関連法規の遵守状況確認結果違反等はありませんでした。
又苦情・訴訟等はありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 全体評価

エコアクション21を構築し、3ヶ月の運用期間を経て目標の未達成項目はあるが、計画の実施状況及び法規等の遵守状況を見る限り、主要な環境活動は概ね実施できた。従って環境経営方針は変更しないが、活動テーマによっては改善の余地が残されており、今後社員が一丸となってシステムの充実と改善に取り組んでほしいものである。

(2) 見直しの結果

①二酸化炭素の排出では、車燃料使用量削減目標は達成したが、電力使用量削減は目標を達成できなかった。電力の未達原因をしっかりと究明し来年度の目標達成につなげていく。環境目標は変更しない。

②一般廃棄物の削減目標は本社が目標達成できなかった。分別の徹底、裏紙の使用等を進めてきたが、紙使用量がまだ多いので更に徹底する。

③水使用量の削減は、節水の意識付けができ徹底され、目標を達成することができた。今後も継続していく。